

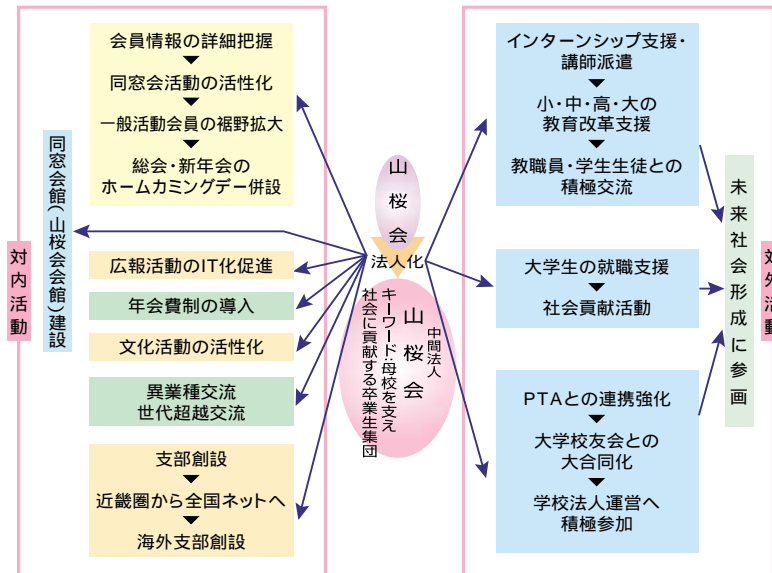
山桜會報

第68号

発行者
追手門学院校友会山桜会
会長 川原俊明
〒540-0008 大阪市中央区大手前1-3-20
追手門学院小学校内
TEL 06-6940-3481・FAX 06-6940-3482
© 2001 編集責任・松本暁子

CONTENTS

山桜会の近未来像を描く 川原会長……………1	中高入試要項……………4
川人校長、川原会長対談……………2・3	山桜会行事……………5
学院の現状と山桜会への期待……………3	同窓会便り……………6・7
予算、決算報告……………3	OB会便り……………8



近未来の山桜会像
それは、山桜会が法人という独立した人格を持った団体として、母校のインターンシップ(体験学習)制度を支え、教育改革の先頭に立ち、卒業生であることもに社会人としてのリーダーシップを発揮します。山桜会の法人化により、会員から集められた会費や積み立てられた基金が厳格な管理下に置かれ、将来的に建設を

序章
21世紀は、輝かしい世紀として豊かな未来社会が約束されているはず。なのに、その幕開けの今年2001年、ユーロで勃発したアメリカ同時多発テロ事件をはじめ、IT関連産業の凋落、先のない世界的経済不況など、新しい時代を創る「産みの苦しみ」というには余りにも悲惨な事件・重苦しい事態が頻発し、先行き不透明感が漂っています。
その中であって、この4月から出発した山桜会の新体制は、志を同じくする気心の知れた仲間たちによって力強く運営され、着実に、且つ、順調に歩みを進めています。
しかも、その山桜会活動は、山桜会そ

のものを単なる親睦組織から大きく脱皮させ、社会的な存在に位置づけようとしています。
すなわち、私たちは、追手門学院という母校に照準を当て、母校との関係を見直しながら、山桜会という同窓会組織の存在意義を原点から洗い直そうとして一歩を踏み出しました。
そして、追手門の卒業生である会員一人一人に、山桜会への帰属意識を深め、実際に山桜会活動に参加することによって母校を応援し、社会に貢献する社会人としての役割を果たしているのだ、という認識を持ってもらいたい。この願いから、近未来に向けた山桜会活動方針を確立し、会員の皆様とともに力を合わせ、一つ一つの目標に向かって着実に実現を目指そうと考えています。

山桜会の近未来像を描く

……活動の原点を見据えて……

会長 川原俊明

山桜会組織の拡充…同窓会館建設を目指す
一方では、山桜会の組織そのものも、内部活動において大いに発展拡充する必要があります。
会員への情報伝達をIT化し、インターネットをフル活用して、山桜会自体の活動をリアルタイムでホームページに映し出します。
同期会の会合内容や山桜会コンプレックスの案内などすべてインターネットを通じて情報提供がなされることになりま。山桜会のホームページには、リンクされた各学部のホームページを通じて追手門学院の幼稚園・小学校から大学まで現在の学内事情が卒業生の目の前に現れてきます。山桜会会報誌は今までもは違った役割を担うかもしれません。
山桜会が本当に会員全体のものとして認識されるためには、もっと裾野を広く、活動範囲を広げる必要があります。そのためには、会員一人一人の情報正確に把握して捕捉率を高めるとともに、文化活動を通じて一般会員の活動会員を飛躍的に増やし、活動範囲の

夢見る同窓会館の所有意義も、法人山桜会として登記できるなど、独立法人としてのメリットを享受することができま。
山桜会の活動の輪を広げるには、PTAとの連携はもちろんのこと、大学校友会とも大同団結して、学校法人追手門学院の運営に大きな力を発揮すべきです。
その結果、山桜会は、同窓会活動だけでなく、母校を同じくする社会人集団として、地域に根ざしたボランティア活動などを通じて、明るい未来社会の建設に貢献していくことになるでしょう。

山桜会の目的…同窓会活動を通じて社会貢献を目指す
山桜会の目的実現のためには、近畿を中心として、全国的に各地域の支部を活動拠点とし、山桜会活動の輪を広げて行くことが大切です。そして、私たち卒業生の集合場所であるとともに、山桜会活動が永続的に継続するための本部として、山桜会会館の下の同窓会館が建設されるまで、みんなで力を合わせ、頑張ろうではありませんか。会員一人一人が山桜会活動のメリッ

裾野を拡大していく必要があります。現に、新年会実行委員会や文化祭の模擬店「いか焼き」等で、評議員以外の一般会員の皆さんが数多く参加していただいているように、会員が山桜会としての活動に参加することで有形無形のメリットが享受できる、という理解が必要で。
追手門学院が10年の歴史を経た名門であるだけに、山桜会への活動参加は、単なる同窓仲間との再会だけにとどまらず、異業種交流、世代を越えた人脈形成の可能性など、ついでに金では買えない大きなメリットがあります。
このメリットを受ける代償には、会員のボランティア意識の向上とともに、一方では経費増大の壁を乗り越える必要があります。
山桜会活動の活性化の原動力として、まず必要なのが、活動経費の捻出です。少子化による会費減収問題を現実のものとして受け止めることも必要となります。そのためには従来の終身会費制を入会費に改め、別途、年会費制を導入するなど抜本的な解決策が不可欠でしょう。

トを享受しながら相互に豊かな人間関係の形成に貢献できれば、これほどの喜びはありません。
同じ同窓が力を合わせて社会に貢献し、新しい未来社会形成に参画できる。
私たちの限られた人生の中で、追手門学院という母校の存在によって形成された運命の巡り合わせを十二分に満喫できるのではないのでしょうか。

2002 WELCOME NEW YEAR

新年会のご案内
新年会のご案内

日時：平成14年1月19日(土)
午後6時～午後8時30分

会場：太閤園2階ゴールデンホール
〒534-0026 大阪市都島区綱島町9-10

会費：一般会員 10,000円
現役中・高・大生 5,000円
(小学生以下は無料)

ゲスト
オペラ歌手 越智則英さん
(中高15期生)

お待たせしました…

山桜会ホームページ

いよいよ、**12月1日グランドオープン!**

<http://www.yamazakurakai.com>

情・報・満・載・!
上記のアドレスまでぜひアクセスを!!